

会派議会報告&意見交換会のご案内

日時: 平成25年5月26日(日曜)
14時30分～16時00分
※受付は14時15分から

会場: アルプラザ堅田2F「カフェ白鳥」

定員: 先着お申し込み 30名様
(席数の都合上、事前申込み制)

会費: 無料(飲み物代は各自実費清算)

報告者: 藤井哲也議員

申込み: メールでご氏名・住所を送付下さい。
→ 250526@fujiitetsuya.jp

■ 会次第

- ① 会派の議会報告
- ② 報告に関する質疑
- ③ 市政の課題共有
- ④ 意見交換



「堅田ベース(カフェ白鳥)」内観

新たにしています。
今号では、三月十九日に閉会した2月議会での議論や、会派「みんなの党大津」の主張を中心にもとめております。
引き続き、本年度も市民の皆さまの声を、議会に届けるため地道な地域活動を継続し、また市政への建設的な提言を行うための調査・研究を行ってまいります。
本年度も引き続き、市民の皆さまからの厚いご支援ならびにご意見を賜れますよう、宜しくお願い申し上げます。

みんなの党大津 代表 藤井哲也



〔藤井哲也議員 於 大津市議会〕

新年度を迎え、市民の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のことと存じ上げます。
4月に入り、保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校での式典では、多くの子ども・若者の希望と不安の顔を見るにつけ、将来の日本を担う人物育成の責任の重要性を、議員として感じ、教育環境の更なる充実に力を注いで参りたいと思ひ、思いを

みんなの党大津からのご挨拶

平成25年度事業（みんなの党大津 提案・要望関連）

● 行財政改革・公務員制度改革

・ 大津市職員人事評価制度が改正に！

平成23年の当選直後から継続して問題点を指摘し、民間水準の新しい人事制度導入を提案してきました。いまだ問題点が多いものの、まず公務員制度改革の第1歩だと思っています。

● 増税に頼らない財源増加

・ 企業局道路占用料の1億6千万円が一般財源に！

これまで市企業局ガス事業では大幅な利益が出ていました。それにも関わらず、市はガス管道路占用料を免除してきました。昨年議会で問題点を指摘したことにより、新年度からはガス料金の値上げなく、1億6千万円の市財政増収となりました。

● 経済活性化政策

・ 中小企業活性化条例制定に向けた検討開始！

教育や福祉を充実させるためには財源増加策を講じなければなりません。中小企業活性化条例の検討を促し、新年度から産業観光部において、検討が始まります。早期の条例制定を引き続き、促していきます。

こう変わる！

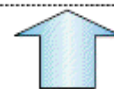
【今後、運用予定の制度】

- 「自分の評価」が昇給とボーナスに影響。
- 上司がしっかりと部下の評価ができるようにしっかりとした評価者訓練を行う。

||

必死でがんばれば、報われるかもしれない制度となる。

※ただし、昇給はごく一部（S評価を2期連続獲得）の職員のみという極めて形式的な制度改定に過ぎず、真の制度変革への道は半ば。



【現在、運用している制度】

- 「自分の評価」は、処遇（給料やボーナス）とは関係ない。

||

「がんばっても、がんばらなくても一緒」という年功序列型制度であり、モチベーション低下。

何度も問題点を指摘！
新人事制度を提案！

「ごみ処理施設の検討は第三者ですべき！」

現在ごみ処理施設は、市内に3か所5焼却炉（伊香立・富士見・大石）があります。市長は内部検討の結果、今後は、2か所4焼却炉（伊香立・富士見）にする案を提示しました。

この市長案に対して、地震断層帯の上を走る施設整備計画の問題点を指摘した上で、市長案とそれほど必要財源は変わらないにも関わらず、ごみ処理能力を十分に確保できる、2か所5焼却炉体制（伊香立と富士見または大石）を提案しました。

市長は、内部検討ではなく、第三者検討委員会を設置し、正確な検討をすべきです。

就任後1カ月で8日しか勤務していない
公営企業管理者は給与を返上すべき！

昨年12月19日に公営企業管理者に就任した山本博志氏は、その後1カ月間で8日間しか公務に携わりませんでした。（一般職員の勤務日数は19日間）

仕事納め式や年頭仕事始め式に参加せず、また予算会議などの重要公務にも参加していません。理由は「冷蔵庫などを購入するなど引越し業務が忙しかったため」という趣旨のものでした。

私からは市長及び公営企業管理者に対して、給与と手当の返上をすべきと質しましたが、越市長の答弁は「問題ない」とのものでした。

「常勤特別職」の地域手当は廃止すべき！

常勤特別職（市長、公営企業管理者ら）は、地域実情を踏まえた給与を審議会答申に基づき支給されていますが、そこに加えて、地域手当（給与の10%）を受け取っています。

この無駄な地域手当は廃止すべきです。

「中小企業（活性化）条例」策定すべき！

昨年12月議会で提案した「中小企業条例」について、新年度から庁内検討が始まります。会派からは、中小企業活性化による税収拡大と地域雇用創出の効果を述べました。

「観光振興策」の費用対効果検証を！

大津市は平成25年度より平成28年度にかけて実施する「観光振興アクションプラン」を策定しました。しかしながら、この「プラン」には年次目標及び事業費用が算定されていないため、費用対効果の検証ができません。

観光客の年次目標数値等を明確にし、費用対効果検証ができるように市に提言しました。

「地域コーディネーター」選任は公平に！

学校と地域と家庭との連携を強化し、地域一体で子どもたちの教育環境の整備を行うために、地域コーディネーター（報酬あり）が新年度から設置されます。

この職の人選について、「学校長が選任する」と当初説明を受けたため、地域の声を十分に反映すべきと提言し、結果的には、地域からの公募制になりました。

「事務事業の二次評価に基準を設けるべき！」

市長と副市長が行う事務事業の見直し基準を問いました。（まさか好き嫌いで選んでいくわけではないと思うので）どのような基準で、事務事業を廃止、見直しするのかを明確にすべきと考えます。あいまいな答弁だったため、引き続き質問を行います。

住民不安解消のために、

住民独自の地盤調査を認めるべき！

地域の8割の住民が不安に感じている地盤安定性について住民意向を尊重すべきと市長の政治判断を尋ねましたが、部長答弁で、且つ住民意向に沿わないものでした。

コラム（みんなの党大津代表 藤井哲也）

市議会議員に当選させて頂き、会派を結成してから丁度2年が経ちました。この間、一貫して「公務員制度改革」と「地域経済活性化」にむけて活動を行ってきました。成果としては「市職員人事評価制度がリニューアルしたこと」、「市中小企業活性化条例制定に向けた検討会が発足」したことが挙げられます。越市政も2年目に入りました。引き続き、市民のQOL（生活の質）向上のため、是々非々の姿勢で判断・行動していきたいと思っております。

視察報告

去る4月4日に、大津市北部地域の諸課題を調査するために、現地視察に「みんなの党大津」所属の藤井哲也議員も参加しました。

北消防署建てかえ計画、小野駅前整備計画、堅田駅西口開発事業及び関連する都市計画道路の計画、土壌汚染状況を確認し、随行した市職員へ、住民ニーズに基づき、意見交換をいたしました。



会派連絡先

大津市御陵町3-1
市役所本館 3F 議員控室

藤井議員自宅連絡先

大津市真野1-13-7-205
<http://www.fujitetsuya.jp>

メール
tetsuya@fujitetsuya.jp

フェイスブック
「fujitetsuya53」

ツイッター
@fujii_tetsuya

FAX : 050-3488-7717

※ブログを週1、2回書いております。

所属議員 藤井哲也

昭和53年生まれ。34歳。

【専門分野】

- ・若者の雇用対策
- ・起業や創業支援
- ・人事制度構築や職業能力形成

